

1932年、倉敷の地で食品卸売業からスタートし、青果物の卸売販売を軸に事業を拡大した「クラカグループ」。卸売市場として、スーパーなどの量販店を通じて、新鮮で安全安心な青果物を食卓に届け、暮らしの根本である「食」を支えてきた。「時代とともに多様化する消費者ニーズに対応するため、1998年に「カット野菜部」を立ち上げ、コンビニやドラッグストアなどに並ぶパッケージサラダやカップサラダをはじめとした消費者向けカット野菜や、外食チェーン



さまざまな規格や用途に合わせたカット野菜を提供。

岡山の農業を元気にすべく、時代に先駆けた取り組みを行う。



専務 富本尚作さん

岡山県倉敷市出身、昭和49年4月入社。蔬菜部、果実部、輸入青果部を経てカット野菜部を立ち上げる。岡山産の野菜を使用した、自社ブランド「ぼっけえまいドレッシング」シリーズの企画・開発も手がける。

弁当、惣菜製造業者向けの加工業務用カット野菜を提供しています。そうした富本尚作専務は、「品質」をキーワードに、カット野菜の製造や販売システムの構築に尽力してきたという。現在では、品質面・安全面ともに西日本最大級のカット野菜工場に成長し、2009年には、卸売市場業界初となる「ISO22000食品安全マネジメントシステム」の認証を取得。また2017年には、生産管理システムの導入により売上高が伸びた実績が評価され、経済産業省の「攻めのIT経営中小企業百選」に選定された。

地域農業発展に向けた「クラカアグリ」の取り組み。

グループでは、新規事業として、2016年に「クラカアグリ株式会社」を設立



総社市清音の農場を中心に、岡山県の農業活性化に貢献

し、カット野菜用のキヤベツ、青ネギ、レタスといった加工用露地野菜の生産と出荷を行っています。同社では、岡山県の農業を元気にすべく、水田を利用した野菜の転作や、遊休農地の活用に取り組み、みずから「儲かる農業のモデル農場」となっている岡山県産野菜の生産性向上を目指すとともに、就業支援や技術指導など農業従事者の育成も行う。クラカグループでは、企業理念のひとつとして「新規開拓」を掲げています。これからも新しいマーケットや流通経路を作り、グループ全体で200億円企業への成長を目指したいです」と今後の目標を話す富本専務。農業生産からカット野菜の製造販売、青果物の流通までグループで「貫き」行うという、新たなアグリビジネス分野に挑戦している。

クラカグループ(倉敷青果荷受組合、クラカフレッシュ(株)、クラカアグリ(株)、クラカコーポレーション(株))

- ◆事業内容 / 青果物の集荷と卸売販売 / カット野菜・ホール野菜の提案・製造・販売 / 農業生産
- ◆設立 / 昭和7(1932)年
- ◆資本金 / 6700万円
- ◆従業員数 / 320名 (グループ全体パートアルバイト含む)
- ◆代表者 / 吉田修作
- ◆事業所 / 倉敷市西中新田525-21
- ◆本社所在地 / 〒710-0833 倉敷市西中新田525-21 / TEL.086-425-2100 / FAX.086-425-2600 / http://kuraka-g.com/



クラカグループ



【カット野菜・農業生産】

ぼっけえなあ!

「食」と「農」をテーマに新しいビジネスに挑戦。



写真右) 自社グループの農地で加工用露地野菜を生産。写真中) カット野菜工場では常に安全・安心な商品を提供できる現場作りを取り組んでいる。写真左) 蔬菜部(そさいぶ)は、産地と売場をつなぐ架け橋になっている